

松虫タイムス

千葉大学・園芸学部・応用昆虫学研究室, 環境生物学的研究室, 応用動物昆虫学研究室 同窓会

第18号

2009.3.26 発行 <http://www.h.chiba-u.jp/insect/matsumushi/>

松虫タイムス 18号発行にあたって

松虫タイムス

会長 左近司 昌弘

春 3月は例年の事とは言え、年度末、学年末で人の生活が大きく変わる季節です。1・2月の暖冬、3月に入ってからは一転寒冷で雪と大変化ですが、皆様元気で過ごしのことと存じます。

このところの気候の変動どころか経済の激変、そして学園でも吾学部の移転問題とさまざまな動きの中で、これはまたもっと身近な天野洋教授の京都大学転出というニュースが加わりました。昨年の本山教授退職に続くもので、吾松虫会にとってはショック。しかし先生の今後の活躍に期待しましょう。その他、100周年記念の募金は皆様の協力で目標に達したので過日納付したことなどをお送りします。

学部・研究室情報

松虫タイムス

平 成20年度は4名の修士修了生と4名の学部卒業生を送り出しました。おめでとうございます。修論と卒論の題目は以下の通りです。

■大学院園芸学研究所 博士前期課程 修士論文

- 小越 将行 ミナミオオメカメムシ *Geocoris ochropterus* の捕食選好性と捕食場所選択について
- 澤村 牧子 ジンガサハムシの生活史に関する研究—特に温度・日長の影響について
- 山岸 勝哉 ヤマトクサカゲロウ2タイプ間の生態学的性質の比較に関する研究
- 尹 丁梵 LEDの照明技術を利用したオオタバコガの飛翔行動抑制効果

■園芸学部 生物生産基礎科学講座 卒業論文

- 押見真希恵 ダングラテントウの分子系統解析と内部共生微生物の探索
- 新谷 典子 キクキンウワバの生活史、特に発消長と冬季の生態に関する研究
- 滝口未起子 ヤブキリの食性に関する研究
- 宮崎 祐太 クサカゲロウ科昆虫3種の発育および生物学的性質の比較

このうち、卒論生の押見さんが生物生産基礎科学講座で優秀発表として選ばれ、3月20日の公開発表会でポスター発表を行いました。押見さんは東大の大学院（新領域）に進むので、なおいっそうの活躍を！残りの3名は学内に進学しますが、みんな良い成果を残してくれるよう期待しています。

修士では尹（ゆん）君は博士課程に進学します。また小越君と山岸君は就職し、澤村さんは音楽家の道を歩み始めます。新たな旅立ちを祝いたいと思います。



↑ ポスター発表する押見さん

応用動物昆虫学研究室教授

環境健康フィールド科学センタ長 天野 洋

千葉大学憲章の文頭に「千葉大学の理念」が書かれています。上記したモットーの後に以下のような文章が続きます：

千葉大学は、世界を先導する創造的な教育・研究活動を通しての社会貢献を使命とし、生命のいっそうの輝きをめざす未来志向型大学として、たゆみない挑戦を続けます。

この文章の「千葉大学」をそっくり「応用動物昆虫学研究室」と変換すると、まさにこの研究室が、そして松虫会が目指す世界が示されているのではないのでしょうか。

*

松虫会の皆様、ご無沙汰しています。突然ではありますが、4月1日付けで京都大学農学研究科の生態情報開発学分野教授として転出する事をお許し願わねばなりません。私は1981年4月に本研究室の前身である、環境緑地学科環境生物学研究室に助手として赴任しました。当時の真梶徳純教授、本山直樹助教授のもとで研究者生活をスタートする光栄に浴しました。以来、28年間、千葉大学は私を育て続けて下さいました。勿論、松虫会の皆様の温かい支援があつてこそだと感謝しています。

* *

転出の件は、些か急な事態でした。最終的な選考結果が出たのは本年2月初旬の事で、人事案件でもあり、同僚の野村准教授に事情をお話しするのも1月中旬までは憚られるものでした。野村先生には大変なご迷惑をおかけしたと思っています。転出を知らされた多くの方々は、「栄転おめでとう」とお声をかけて下さいますが、本人は全くそのような気分はありません。教育・研究者としてスタートした自身の道に舵を切りもどす・・ただ、その一点を踏まえて我が儘を言わせて頂いた次第です。元〇〇、元××という肩書きを引きずりながら日々を過ごすよりも、『より高きものをめざして』多くの苦労をも甘受しつつ前進したいと考えました。

* * *

百年に一度と言われる経済状況は、大学の中にも暗い影を落としています。教育・研究の環境の悪化のみならず、学生諸君の就職活動も思うようにならず卒業研究や修了研究に大きな影響を与え初めてきました。ただ、このような時期だからこそ『つねに、より高きものをめざして』日々の鍛錬を怠らないで欲しいと思います。鍛錬のみが希望を生み出す原動力だと思います。

Epilogue

To all my dearest former students:

Due to the new mission, I have to move to the Graduate School of Agriculture, Kyoto University on April 1, 2009.

I sincerely appreciate all your efforts and supports provided when you were in Chiba University, hoping that this good relationship lasts forever.

Thank you

Hiroshi Amano Ph.D.

天野先生が京都大学に移られるので、いくつかの送別行事がありました。3月16日は大学内、17日は千葉県の検討会で、それぞれこれまでの研究を発表されました。検討会時は懇親会で送別行事も行われ、研究室では23日の卒業式後のお祝い会で先生の前途も祝しました。



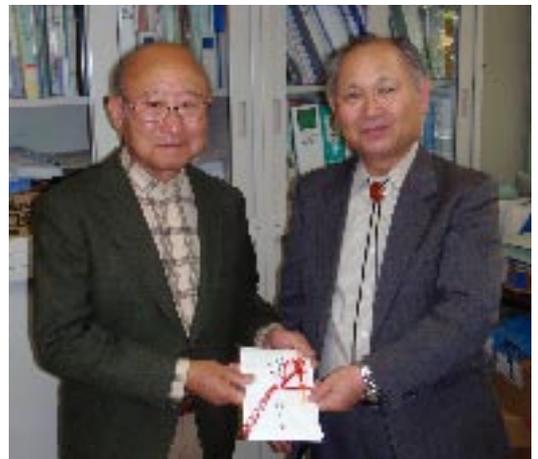
なお、松虫会としての送別会を6月6日(土)夕方に行いますので、多くの皆さんの参加をお願いいたします。詳細が決まりましたら案内をお出しします。予定では幕張のホテルニューオータニで開催予定です。

←セミナーで発表する天野先生

100周年記念事業は、園芸学部の移転問題がまだ進展していないことから、いろいろ問題となっていますが、松虫会での寄附は、前号(17号)でご紹介したほかに、以下の方が寄附金を送ってくださりました(50音順)。

市川 千代 ・ 石井 俊雄 ・ 兵頭 泰久 ・ 藤平 充 ・ 三田 毅

前回と合わせて、76名 105,000円 となりましたので、目標額に達したことから、昨年11月の戸定祭において、左近司会長が飯本100周年記念事業担当委員に寄附金を手渡しました。100周年記念事業については、戸定会報に詳しいので、そちらをご覧ください。



松虫会の寄附金を手渡す左近司会長(左) →

今年は総会のある年なので、昨秋及び松虫タイムス17号で予告しましたように、5月16日(第3土曜日)にこの会を催します。会場は東京中央区日本橋で乗り物の便もよく、また昼の時間(正午集合)なので、遠方の方でも都合の付く方は参加して下さい。多少でも気のある方には案内状を差し上げますので下記に連絡下さい。案内状の発送は4月に入ってからです。

連絡先 〒349-0101 蓮田市黒浜1675-6 左近司 昌弘

TEL 048-769-0840 FAX 048-769-0852

第53回日本応用動物昆虫学会大会は、今年の3月28～30日に北海道大学で行われます。その後の第54回大会は千葉で行われることになりました。1989年に行われた第33回大会は、真梶大会長のもと松戸で開催しましたが、参加人数が増加していることなどから今回は西千葉キャンパスで行います。けやき会館や総合校舎を使って3月24～26日に開催します。千葉大会ではシンポジウムが企画され、学会初のポスター発表が採用されるなど変革の大会となります。天野教授の不在は残念ですが、学内だけではなく、農林総研とも密な連携を行っていくので、成功に終わらせるよう頑張ります。卒業生の皆様にもいろいろな面で関わっていただくことになると思いますが、何とぞご協力のほど、お願い申し上げます。

また、今年の11月19～20日に天敵利用研究会の千葉大会が行われます。こちらは千葉中央駅に面している京成ホテルミラマーレで開催されますが、当然研究室も大きく関わりますので、こちらも農林総研とも連携しながら成功するよう頑張ります！

今年は総会です

いろいろな行事が控える今年ですが、松虫会総会も開催されます！今の予定では戸定祭開催中の10月30日（土）を予定していますので、カレンダーに印をつけて、どうぞおいで下さい。詳しくは次号のタイムスでお知らせします。100周年記念事業が終わるといよいよ松虫会の会長も改選されます。新たな松虫会として旅立つには皆さんの参加が何よりの励みです。どうぞよろしくお祈りします。



天野先生と留学生



天野先生と卒修了生

編集後記

1990年に松戸に来たときは真梶、本山、天野の各先生で4人体制だった研究室も、何と4月からは私一人になってしまいます（あと事務の景山さんはいます）。まだこの先のことは全て未定ですが、今の学生、そしてこれから関わる学生が不便を感じないように精一杯やっていく所存です。松虫会については、全く変わりませんからご安心下さい。

研究室の運営についてもいろいろな新しい試みも行っていきますので、セミナーとかで卒業生の方にも声をかけたいと思います。前を向いて一緒に明るく頑張っていきましょう！最後に天野教授と卒業生の前途を祝し、3月23日に行われた送別会の写真を載せました。

MN